

協働支援ツールのコンセプト

- 希死念慮のある方から自死関連行動により救急搬送される方まで、対象とすること。
- 自死の背景に複合した課題がある場合に備え、必要に応じて多機関連携で協力できるようにしておくこと。
- 時間的制約がある場合も考慮に入れ、出来るだけ効率的に情報収集できること。
- 複合的な課題を抱える方を支援していくために、支援方針や支援の順序などが具体的になること。

コンセプトを踏まえた留意点

- (1) 救急搬送された方から希死念慮のある方まで幅広く対応できるように、多分野にわたる支援機関で活用できるツールであること。
- (2) ハイリスク者を多機関協働で支援していくために、具体的な支援の流れについて共通認識を図ることができるツールであること。
- (3) 限られた時間内にアセスメントしなければならない場合があることを踏まえ、アセスメントの順序や当面必要なアセスメント項目が整理されたツールであること。
- (4) 複合的な課題を抱える方に対応するため、支援の方針が示され、提供する援助の順序が明確化できるツールであること。